

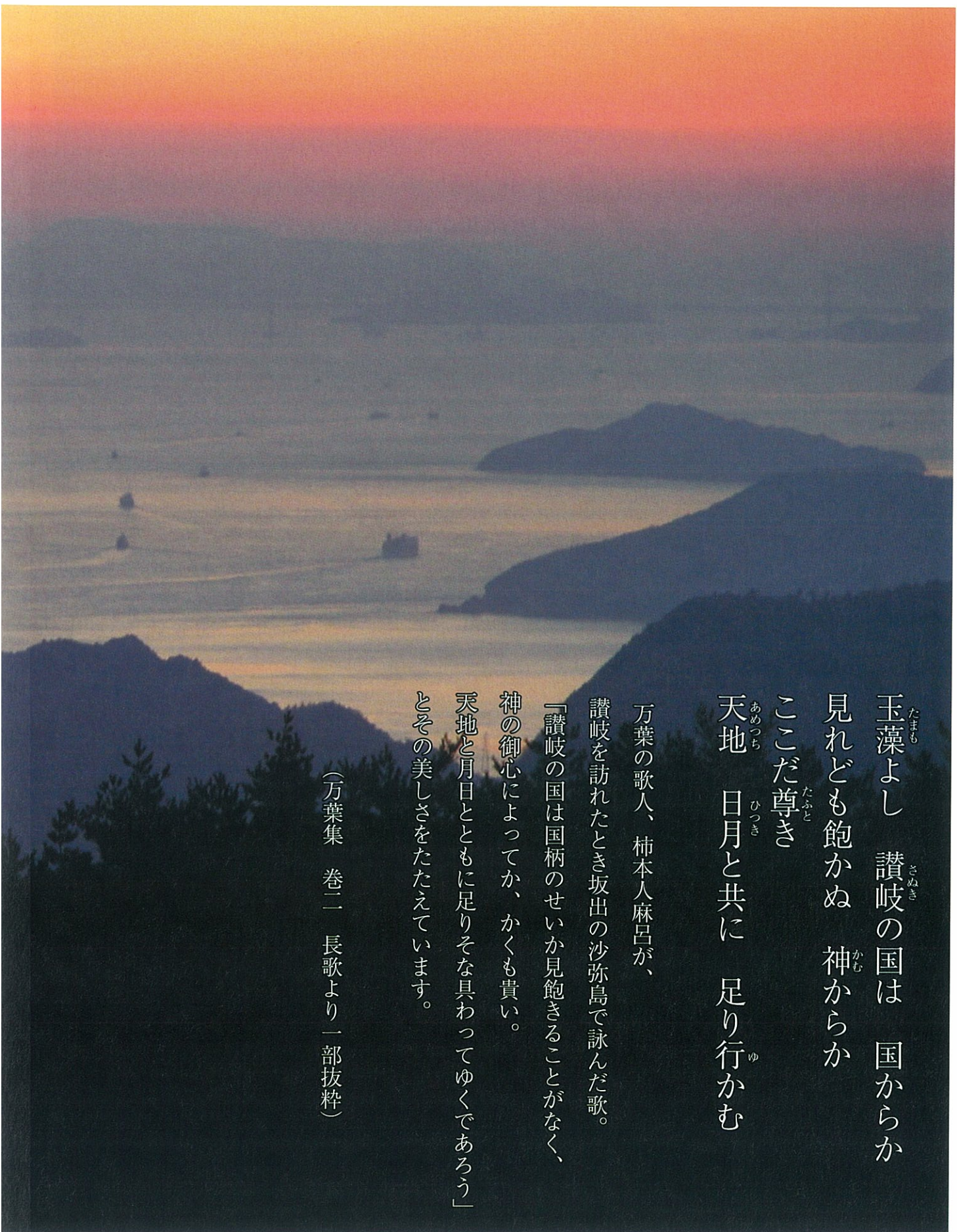
玉藻よし 讃岐の国



夕日の瀬戸内海

波穏やかな海，点在する多くの島々，白砂青松の浜。

瀬戸内海は，1934（昭和9）年日本で初めて国立公園に指定されました。



玉藻たまもよし 讃岐さぬきの国は 国からか

見れども飽かぬ 神かむからか

ここたふとだ尊たふとき

天地あめつち 日月ひつきと共に 足り行ゆかむ

万葉の歌人、柿本人麻呂が、

讃岐を訪れたとき坂出の沙弥島で詠んだ歌。

「讃岐の国は国柄のせいが見飽きることがなく、
神の御心によつてか、かくも貴い。

天地と月日とともに足りそな具わつてゆくであろう」
とその美しさをたたえています。

（万葉集 卷二 長歌より一部抜粋）